

第2後方支援連隊 新隊員特技課程教育

令和4年度 一般陸曹候補生課程後期及び
令和4年7月1日(金)～9月16日(金)

第2後方支援連隊は、武器科職種の基礎となる「小火器整備」、「装輪車整備」等についての教育をしました。区隊長は、第1整備大隊 大橋一仁曹長です。

教育を受けていた高田2士に大変だったことや入隊のきっかけを聞くと「自分で選んだ職種にこれたのですが、覚えることが沢山あって小テストや実技の実践などもあり、ちょっと大変でした。母が自衛官で、自分と弟を一生懸命育ててくれて感謝の気持ちもあり入隊しました。ボーナスが入ったら洋服などをプレゼントしたいです。」と笑顔で話してくれました。高校時代は新千歳空港内でウェ이터のアルバイトをしていたそうです。ウェ이터姿も似合っていたと思いますが、今は戦闘服姿がとても似合っていました。石井2士は「沢山のことを学びながら楽しく過ごすことができました。」、女性自衛官の米内2士は「かけ声をかけながら走るのが、きつかったです。自衛隊に入隊した先輩(女性)が、バキバキに鍛えていて格好いいなと思い、憧れから入隊しました。」と話してくれました。学生時代は卓球部だったそうです。

小火器整備を見学した時、細かな部品を大切に扱いながら真剣に取り組んでいて「構造が分かるのが楽しい。」と話す隊員は嬉しそうでした。区隊長に話を聞くと、「職種の教育はゼロベースから始まるので、どうなるか心配でしたが、みんな頑張っていて教育に取り組んでくれて良かったです。教育が終わってからも同期の絆を大切にしてほしい。」と話されました。



小火器整備



装輪車整備



射撃検定



栃木県と群馬県出身の2人が旭川で
出会い、ベッドバディで仲良しに!

野外訓練等の写真は第2後方支援連隊第1科提供



小火器整備は、色々な種類の整備を行います。



チェーンは重たいですが演習場では1人でつけることもあります。ねじれがないかを確認するのが重要



体力検定（熱中症予防のため、一部でマスクを外して訓練しています。）